

元気な地域づくり 活動報告会
**「隣近所の助け合い」から広がる
 「見守り合い」**

瀬谷区阿久和北部地区
 社会福祉協議会 会長
 清水 靖 枝

平成21年12月17日（木）



阿久和北部地区は瀬谷区
 の南東部に位置する。

瀬谷区 総人口 128,188人

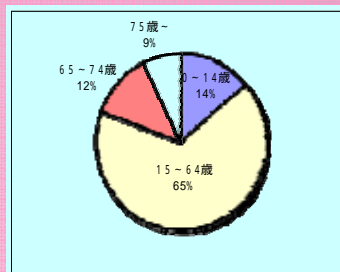
(平成21年3月31日現在)

阿久和北部地区人口 約11,000人

自治会数：11自治会

高齢化率 21.1%

年少人口率 14.3%



瀬谷区 阿久和北部地区の概況

【阿久和北部】

長屋門公園（横浜市歴史的建造物）

阿久和消防出張所

地域作業所ほっとせや

阿久和保育園

横浜市立原中学校

原中学校コミュニティスクール



地域の概況

阿久和北部地区

「見守りネットワーク実行委員会」設立の背景

地域福祉保健計画 (阿久和北部地区計画)

平成17年度策定
普段のつながり作りや地域活性化が目標
「おやじの広場」「喫茶だんらん」を実施

まちの防災知恵袋

平成17年度から実施
大災害に備え要援護者の把握等
瀬谷区と連合町内会自治会連絡会が中心

気づきのキャッチ見守りのリレー

平成20年度から実施
高齢者等の見守りを、地区社協が
主体となつてすすめる。

い
ず
れ
も
隣
近
所
の
見
守
り
が
大
切

5

おやじの広場 (団塊の世代グループ)



- ・団塊の世代に『地域を知ってもらい』『地域で頑張ってもらい』
- ・全世帯アンケートの集計・分析・整理を担当
- ・地区に“元気を発信”している。



見守り合い推進の“核”として
今後も大いに期待

6

実行委員会の成り立ち (平成20年6月)

福祉保健計画
地区支援チーム

区役所
ケアプラザ
区社協

阿久和北部見守りネットワーク実行委員会

阿久和北部地区社協

- ・自治会
- ・民生委員
- ・青少年指導員
- ・体育指導員
- ・保護司
- ・保健活動推進員 等

配食
ボランティア

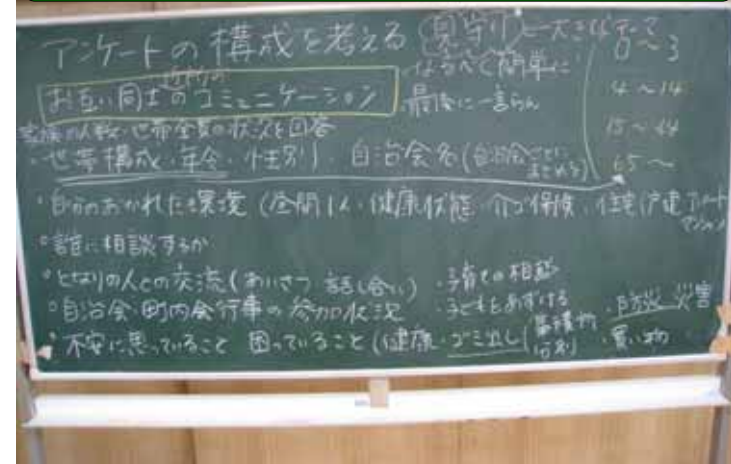
地域デ
イ
サービス

団塊世
代
グループ

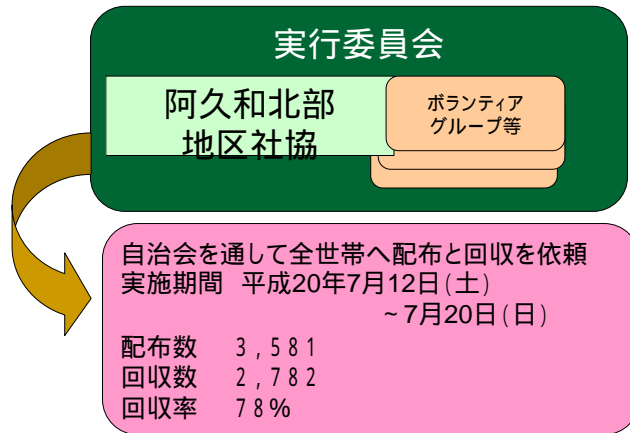
全世帯アンケートの実施
(平成20年7月)

7

実行委員会でアンケート内容を検討



全世帯アンケートの実施方法



9

アンケート回収後

➡ 集計作業は実行委員会と地区支援チーム

3つの工夫

結果を地域へ目に見える形で返す
今後の活動について、まず「関係者」に
知ってもらう
パネルを作ってお互いを知る機会に
地域の連携強化

10

第2回 見守り合いのつどい (平成21年11月8日(日) 原中学校)



結果を地域へ目に見える形で返す



アンケート結果をパネルに (第1回見守り合いのつどい)

まず「関係者」に知ってもらおう



13

お互いを知るためのパネル作成・展示



14

パネル展示参加団体の広がり

31団体(20年度) → 46団体(21年度)

(新たな参加団体)

認知症高齢者グループホーム
介護支援ボランティアグループ
障害者支援ボランティアグループ
地区内の小中学校
地区内の交番 など

15

阿久和北部地区の目指す姿は・・・

日常の「隣近所の助け合い」からお互いの「見守り合い」に広がっていくこと



谷戸自治会の取組を参考にして、各自治会で“できることから”取り組んでいく



地区支援チーム(区役所、区社協、ケアプラザ)が一体となって支援する

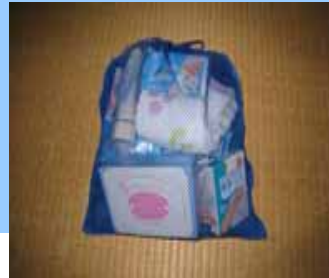
16

谷戸自治会の見守り体制

おとなり場カード
(災害時避難支援)



おたすけ袋
(災害時避難グッズ)



17

谷戸自治会全戸配布のチラシから引用

人は一人では生きていけません。お互いに助け・助けられ、ときには迷惑をかけ合い、「お互い様」の中で生きていくのだと思います。

基本は、“出来る限り自分のことは自分で”です。その上での“お互い様”です。皆で、心安らく地域づくりを目指しましょう。

それぞれの組の見守りあい繋がって、住み続けたい、住み続けてよかったと言える谷戸の地域となり、子どもにとっての故郷になる筈です。

18

元気な地域づくり 活動報告会
「隣近所の助け合い」から広がる
「見守り合い」

発表者
瀬谷区阿久和北部地区
社会福祉協議会 会長
清水 靖 枝

19